

エチプロール・シラフルオフエン水和剤 キラップJ水和剤	取扱メーカー： クミカ、バイエル 原体メーカー： バイエル、バイエル
成分： エチプロール〔フェニルピラゾール系 PRTR・第2種〕…10.0% シラフルオフエン……………20.0%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】 ……………

- 新芽害虫のチャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイ、及びチャノホソガに高い効果がある。
- 有効成分はそれぞれ神経の異なる部位に作用し、速効的に効き長い残効を示す。
- 異なる作用性の2成分で他剤に感受性の低下した害虫に対しても安定した効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 水溶性パック入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意する。
 - 濡れた手でパックに触らない。
 - 外袋の開封後は一度に使いきることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、出来るだけ速やかに使いきる。
 - 薬液の調整は容器内に所定量の水3分の1程度を入れた後、必要量の内袋を開封せずにそのまま容器内に投入する。その後、よく攪拌しながら容器内に水を定量まで加える。
- 水溶性フィルムで包装した製剤は、吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管する。また、強く加圧させると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないように保管する。

- 本剤は茶園やかんきつ園の主要天敵類のうち、テントウムシ類に対して悪影響があるが寄生蜂やカブリダニ類に対して影響は少ない。

- 天敵類の活動が活発な時期の使用はさけ、茶では三番茶以降の新芽害虫を対象に、かんきつ類では開花期の初期害虫を対象に使用することが望ましい。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- あぶらな科作物、レタス及び展葉期から落花期のなしにかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意する。
- 適用作物(かんきつ)への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 甲殻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エチプロールを含む 農薬の総使用回数	シラフルオフェンを含む 農薬の総使用回数
かんきつ	チャノキイロアザミウマ アブラムシ類 ケムシ類 ケシキスイ類 コアオハナムグリ	2000～ 4000倍	200～ 700 ℓ	収穫21日 前まで	2回 以内	散布	2回以内	2回以内
	ミカンバエ成虫	2000～ 3000倍						
かき	アザミウマ類	2000倍		収穫14日 前まで				
	カメムシ類 ケムシ類 カキノヘタムシガ	2000～ 4000倍						
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ マダラカサハラハムシ ヨモギエダシャク ツマグロアオカスミカメ コミカンアブラムシ	2000倍	200～ 400 ℓ	摘採7日 前まで	1回		1回	